

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	長崎県	関係市町村	五島市
事業名	水産資源環境整備事業（水産生産基盤整備事業）		
地区名	ミイラク 三井楽	事業主体	長崎県

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	三井楽漁港（第2種）	漁場名	-
陸揚金額	253 百万円	陸揚量	525 トン
登録漁船隻数	47 隻	利用漁船隻数	65 隻
主な漁業種類	定置網、一本釣り	主な魚種	ぶり、しいら、あじ類
漁業経営体数	29 経営体	組合員数	56 人
地区の特徴	本地区は、福江島北部の三井楽町と岐宿町にまたがっており、近辺の好漁場に恵まれ、定置網や一本釣りを主たる漁業とし、下五島圏域地区における生産拠点漁港としての役割を担っている。		
2. 事業概要			
事業目的	本地区は、防波堤背後の水域に蓄養いけすを設置し、水域の有効活用を図っているが、越波等により被災を受けるなど、安定的な出荷調整機能を果たしていない。 また、盛漁期における陸揚げ待機漁船が発生するとともに、干満差により危険な乗降及び漁具積込作業を強いられており、係留施設の整備が求められている。 このため、防波堤の嵩上げにより安定的な出荷体制の確保を図るとともに、係留施設の整備により安定的な漁業経営及び就労環境の改善を図る。		
主要工事計画	沖防波堤（改良）L=440m、浮棧橋 N= 1 基、-2m物揚場A L=100m、-2m物揚場（改良）L=80m		
事業費	1,078 百万円	事業期間	平成24年度 ～ 平成29年度

Ⅱ 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
分析の基礎となったいけすの将来見込み基数については、近年の漁業者の高齢化といった要因から減少しているが、鮮魚については、当日出荷が可能となり、付加価値の向上によって単価が上昇している。				
2. 事業効果の発現状況				
事業実施以前は、防波堤の天端高が低いことから、越波等による水域の利用制限や、陸揚施設の不足による待機時間の発生等といった問題があったが、本事業による外郭施設や係留施設等の整備により、安定的な出荷体制を確立し、漁業経営の確保及び就労環境の改善等が図られた。 また、現時点で費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
本事業により整備された施設は、漁港管理者である長崎県が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき、漁港管理規定を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。				
4. 事業実施による環境の変化				
本事業による防波堤の整備により、越波等の発生が軽減され、背面の水域における静穏域の確保の効果が見られる。				
5. 社会経済情勢の変化				
当漁港における登録漁船隻数は平成22年には73隻であったが、漁業従事者の高齢化や人口減少等により、令和3年には47隻に減少している。				
6. 今後の課題				
本事業により事業効果を長期発現させるため、計画的に施設の維持管理を行い、安全な漁業環境を形成していく必要がある。				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成24年評価時の 費用便益比B／C	-	現時点の B／C	1.17	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

本事業では、下五島圏域内の定置網漁業の陸揚基地やほかの沿岸漁業の拠点港として利用されるなど、生産拠点として重要な役割を担っている当該地区において、安定的な出荷体制及び漁業経営の確保と就労環境改善を図り、生産拠点としての機能の充実に図るために、外郭施設、係留施設の整備を行った。

さらに、事業効果のうち貨幣化が困難な効果についても、防波堤の整備に伴う水域施設の有効活用の促進等の効果が認められ、水産業の発展の一助となるものと考えられる。

以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、想定した事業効果の発現が認められる。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

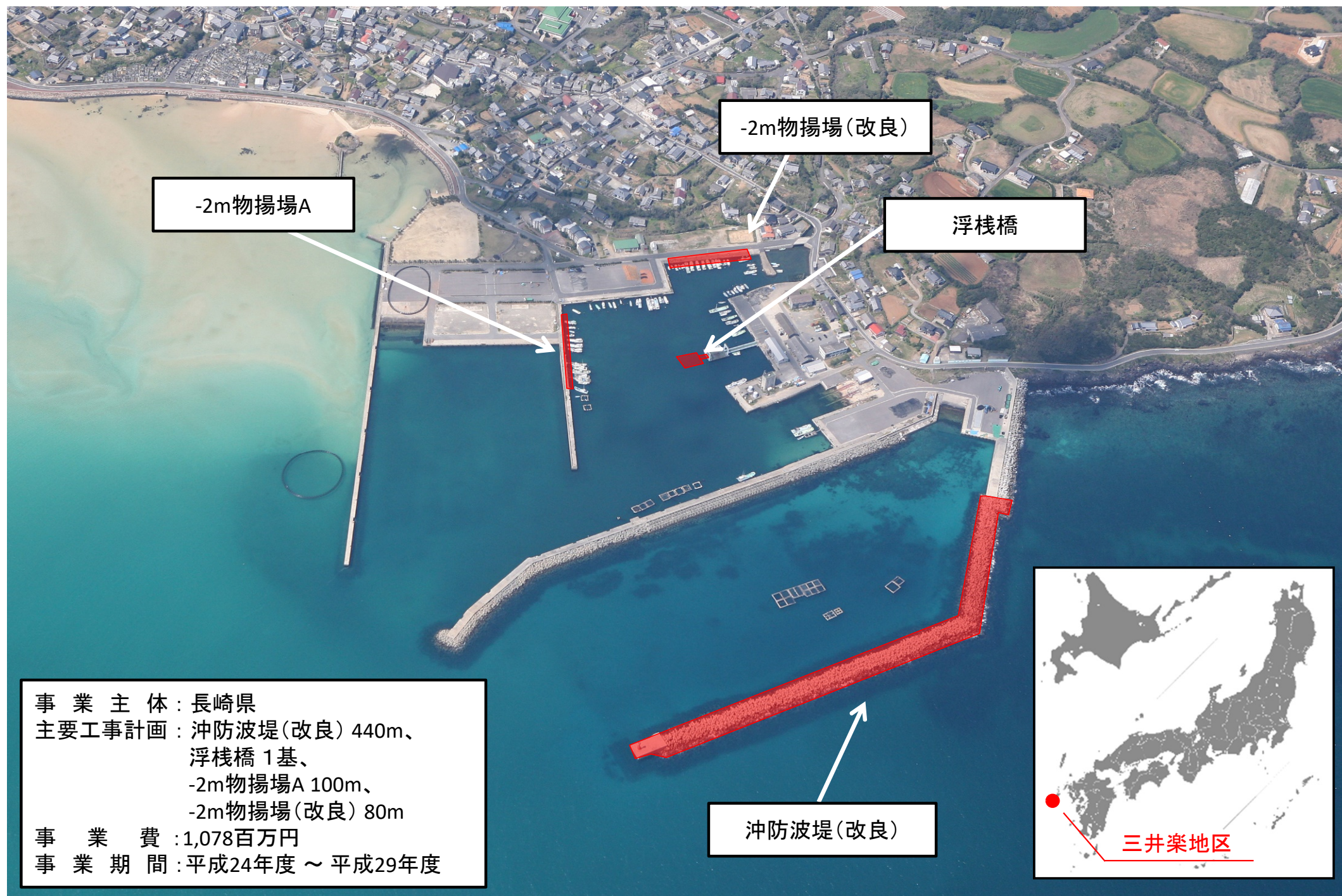
都道府県名	長崎県	地区名	三井楽
事業名	水産資源環境整備事業 (水産生産基盤整備事業)	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

便益の 評価項目 及び 便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,637,668	千円
		②漁獲機会の増大効果		千円
		③漁獲可能資源の維持・培養効果		千円
		④漁獲物付加価値化の効果	523,264	千円
	漁業就業環境の向上	⑤漁業就業者の労働環境改善効果	132,488	千円
	生活環境の向上	⑥生活環境の改善効果		千円
	地域産業の活性化	⑦漁業外産業への効果		千円
	非常時・緊急時の対処	⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
	自然保全・文化の継承	⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
	その他	⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額） B		2,293,420	千円
	総費用額（現在価値化） C		1,962,277	千円
	費用便益比 B／C		1.17	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・防波堤整備により、水域施設の静穏度が確保され、ワカメ養殖など新たな水域の活用が図られる。
- ・防波堤整備により、荒天時の漁船の保全に対する安心感が得られる。
- ・就労環境の改善により、労働意欲の向上が図られる。



三井楽地区水産生産基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1)事業目的：防波堤背後の水域に畜養いけすを設置し、水域の有効活用を図っているが、越波等により被災を受けるなど、安定的な出荷調整機能を果たしていない。
また、盛漁期における陸揚げ待機漁船が発生するとともに、干満差により危険な乗降及び漁具積込作業を強いられており、係留施設の整備が求められている。
このため、防波堤の嵩上げにより安定的な出荷体制の確保を図るとともに、係留施設の整備により安定的な漁業経営及び就労環境改善を図る。
- (2)主要工事計画：沖防波堤(改良) L=440m、浮棧橋 N=1基、－2m物揚場A L=100m、－2m物揚場(改良) L=80m
- (3)事業費：1,078百万円
- (4)工期：平成24年度～平成29年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	1,962,277（千円）
総便益額（現在価値化）	②	2,293,420（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.17

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
沖防波堤(改良)	L＝440m	581,053
浮棧橋	N＝1基	245,480
－2m物揚場A	L＝100m	132,959
－2m物揚場(改良)	L＝80m	118,369
計		1,077,861
維持管理費等		124,200
総費用（消費税込）		1,202,061
内、消費税額		91,024
総費用（消費税抜）		1,111,037
現在価値化後の総費用		1,962,277

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		53,986	1) 蓄用イケース利用度の向上（魚価の安定） 2) 蓄用イケース移動作業労働時間の削減 3) 蓄用イケース資材の耐用年数の向上 4) 待機時に消費する燃料の削減効果 5) 蓄用イケースの水産物の集荷作業時間等の短縮効果 6) 浮体式係船岸整備に伴う係留作業時間の短縮効果 7) 浮体式係船岸整備に伴う係留作業時間の短縮効果
漁獲物付加価値化の効果		17,112	1) 待機漁船の解消による漁獲高の維持
漁業就業者の労働環境改善効果		4,656	1) 蓄用イケース利用時の労働環境改善 2) 浮体式係船岸整備に伴う労働環境改善 3) 浮体式係船岸整備に伴う労働環境改善
計		75,754	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフ レータ ②	費用（千円）			便益（千円）				
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜) ③	現在価値 (維持管理費 含む) ①×②×③	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲物 付加価値化 の効果	漁業就業者 の労働環境 改善効果	計	現在価値 (千円)
										④	①×④
-11	24	1.539	1.321	437,778	405,350	824,084					
-10	25	1.480	1.326	234,163	216,818	425,500					
-9	26	1.423	1.268	194,700	180,278	325,287					
-8	27	1.369	1.247	59,727	55,303	94,410	50,105	17,112	1,129	68,346	93,566
-7	28	1.316	1.247	95,447	88,377	145,031	50,105	17,112	1,129	68,346	89,943
-6	29	1.265	1.214	60,392	55,919	85,875	50,105	17,112	3,044	70,261	88,880
-5	30	1.217	1.176	2,484	2,300	3,291	53,986	17,112	4,656	75,754	92,193
-4	1	1.170	1.144	2,484	2,258	3,022	53,986	17,112	4,656	75,754	88,632
-3	2	1.125	1.127	2,484	2,258	2,862	53,986	17,112	4,656	75,754	85,223
-2	3	1.082	1.087	2,484	2,258	2,655	53,986	17,112	4,656	75,754	81,966
-1	4	1.040	1.000	2,484	2,258	2,348	53,986	17,112	4,656	75,754	78,784
0	5	1.000	1.000	2,484	2,258	2,258	53,986	17,112	4,656	75,754	75,754
1	6	0.962	1.000	2,484	2,258	2,172	53,986	17,112	4,656	75,754	72,875
2	7	0.925	1.000	2,484	2,258	2,088	53,986	17,112	4,656	75,754	70,072
3	8	0.889	1.000	2,484	2,258	2,007	53,986	17,112	4,656	75,754	67,345
4	9	0.855	1.000	2,484	2,258	1,930	53,986	17,112	4,656	75,754	64,770
5	10	0.822	1.000	2,484	2,258	1,856	53,986	17,112	4,656	75,754	62,270
6	11	0.790	1.000	2,484	2,258	1,783	53,986	17,112	4,656	75,754	59,846
7	12	0.760	1.000	2,484	2,258	1,716	53,986	17,112	4,656	75,754	57,573
8	13	0.731	1.000	2,484	2,258	1,650	53,986	17,112	4,656	75,754	55,376
9	14	0.703	1.000	2,484	2,258	1,587	53,986	17,112	4,656	75,754	53,255
10	15	0.676	1.000	2,484	2,258	1,526	53,986	17,112	4,656	75,754	51,210
11	16	0.650	1.000	2,484	2,258	1,467	53,986	17,112	4,656	75,754	49,240
12	17	0.625	1.000	2,484	2,258	1,411	53,986	17,112	4,656	75,754	47,346
13	18	0.601	1.000	2,484	2,258	1,357	53,986	17,112	4,656	75,754	45,528
14	19	0.577	1.000	2,484	2,258	1,302	53,986	17,112	4,656	75,754	43,710
15	20	0.555	1.000	2,484	2,258	1,253	53,986	17,112	4,656	75,754	42,043
16	21	0.534	1.000	2,484	2,258	1,205	53,986	17,112	4,656	75,754	40,453
17	22	0.513	1.000	2,484	2,258	1,158	53,986	17,112	4,656	75,754	38,862
18	23	0.494	1.000	2,484	2,258	1,115	53,986	17,112	4,656	75,754	37,422
19	24	0.475	1.000	2,484	2,258	1,072	53,986	17,112	4,656	75,754	35,983
20	25	0.456	1.000	2,484	2,258	1,029	53,986	17,112	4,656	75,754	34,544
21	26	0.439	1.000	2,484	2,258	991	53,986	17,112	4,656	75,754	33,256
22	27	0.422	1.000	2,484	2,258	952	53,986	17,112	4,656	75,754	31,968
23	28	0.406	1.000	2,484	2,258	916	53,986	17,112	4,656	75,754	30,756
24	29	0.390	1.000	2,484	2,258	880	53,986	17,112	4,656	75,754	29,544
25	30	0.375	1.000	2,484	2,258	846	53,986	17,112	4,656	75,754	28,408
26	31	0.361	1.000	2,484	2,258	815	53,986	17,112	4,656	75,754	27,347
27	32	0.347	1.000	2,484	2,258	783	53,986	17,112	4,656	75,754	26,287
28	33	0.333	1.000	2,484	2,258	751	53,986	17,112	4,656	75,754	25,226
29	34	0.321	1.000	2,484	2,258	724	53,986	17,112	4,656	75,754	24,317
30	35	0.308	1.000	2,484	2,258	695	53,986	17,112	4,656	75,754	23,332
31	36	0.296	1.000	2,484	2,258	668	53,986	17,112	4,656	75,754	22,423
32	37	0.285	1.000	2,484	2,258	643	53,986	17,112	4,656	75,754	21,590
33	38	0.274	1.000	2,484	2,258	618	53,986	17,112	4,656	75,754	20,757
34	39	0.264	1.000	2,484	2,258	596	53,986	17,112	4,656	75,754	19,999
35	40	0.253	1.000	2,484	2,258	571	53,986	17,112	4,656	75,754	19,166
36	41	0.244	1.000	2,484	2,258	550	53,986	17,112	4,656	75,754	18,484
37	42	0.234	1.000	2,484	2,258	528	53,986	17,112	4,656	75,754	17,726
38	43	0.225	1.000	2,484	2,258	508	53,986	17,112	4,656	75,754	17,045
39	44	0.217	1.000	2,484	2,258	489	53,986	17,112	4,656	75,754	16,439
40	45	0.208	1.000	2,484	2,258	469	53,986	17,112	4,656	75,754	15,757
41	46	0.200	1.000	2,484	2,258	451	53,986	17,112	4,656	75,754	15,151
42	47	0.193	1.000	1,257	1,143	220	3,881	0	3,527	7,408	1,430
43	48	0.185	1.000	1,257	1,143	211	3,881	0	3,527	7,408	1,370
44	49	0.178	1.000	592	538	95	3,881	0	1,612	5,493	978
計				1,202,061	1,111,037	1,962,277	計				2,293,420

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物の生産性の向上

①水産物生産コストの削減効果

1) 【沖防波堤（改良）】 蓄用イケス利用度の向上（魚価の安定）

防波堤の被災により蓄用イケスの利用が制限されており、出荷調整によって魚価の安定が図れる漁獲量が限られている。（主に盛漁期）
整備後は、静穏度確保により安定的な利用が可能となり、利用頻度が増える。

区分			備考
イケス基数	(基)	①	15
1基あたり収容 [※] 数	(kg/基)	②	500
盛漁期	(月)	③	1.5
【整備前】			
イケス利用回数	(基・回/年)	④	41
鮮魚単価（安値）	(円/kg)	⑤	360
(ヒラス・タイ)			
【整備後】			
イケス利用回数	(基・回/年)	⑥	80
鮮魚単価（中値）	(円/kg)	⑦	618
(ヒラス・タイ)			
年間便益額（千円/年）		9,433	①×②×③/12×(⑥-④)×(⑦-⑤)/1,000

2) 【沖防波堤（改良）】 蓄用イケス撤去・再設置における作業労働時間の削減

台風時及び台風接近時には、越波等によりイケスが被災する恐れがあるため漁業者は事前に撤去・再設置している状況にある。
整備後は、この撤去・再設置の作業が削減される。

区分			備考
年間イケス撤去・再設置回数	(回/年)	①	14
一回当たり作業人数	(回/人)	②	25
一回当たり作業日数	(日/回)	③	6
撤去	(日/回)		2
設置	(日/回)		4
漁業者所得	(円/日/人)	④	13,700
【整備後】			
皆無			
年間便益額（千円/年）		28,770	(①×②×③×④)/1000

3) 【沖防波堤（改良）】 蓄用イケス資材の耐用年数の向上

現在の蓄用イケスは波浪の影響を受け、他地区に設置してる資材と比較すると耐用年数が短い状態にある。
整備後は、静穏域が確保され網等の資材の耐用年数延長が期待される。

区分			備考
【整備前】			
イケス耐用年数	(年)	①	3
イケス建設費用	(千円/基)	②	2,000
イケス基数	(基)	③	15
【整備後】			
イケス耐用年数	(年)	④	6
イケス建設費用	(千円/基)	⑤	2,000
イケス基数	(基)		15
年間便益額（千円/年）		5,000	(②/① - ⑤/④) × ③

4) 【浮桟橋】待機時に消費する燃料の削減効果

盛漁期では陸揚げ施設である浮桟橋の不足により陸揚げ待機が発生している。
待機漁船は常に動けるようエンジンをかけた状態で待機する必要があるため、その間の燃料消費は無駄となるが、浮桟橋の整備により待機時間の解消ができ、燃料コストを削減できる。

区分		備考
陸揚漁船数	(隻)	33 R3港勢調査
平均燃料消費量	(ℓ/hr) ①	51.6 長崎県港湾・漁港請負工事積算基準 (R5年10月)
燃料費 (重油)	(円/ℓ) ②	115 長崎県基本単価一覧表 資材単価 (R5年10月)
最盛期出漁日数	(日/年) ③	60
【整備前】		調査日: R5年7月12日 調査場所: 五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者: 五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者: 長崎県職員 調査実施方法: ヒアリング調査
待機時間 (全隻合計)	(h/日) ④	6.00
【整備後】		
待機時間 (全隻合計)	(h/日) ⑤	2.00
年間便益額 (千円/年)		1,424 (⑤-④) × ① × ② × ③ / 1,000

5) 【沖防波堤 (改良)】蓄用イクスの水産物の集荷作業時間等の短縮効果

近年の沖波の増大により、通常の波浪時には、漁船から蓄用イクスへ水産物を移す際や出荷する際には、イクスの動揺により転落等の危険に注意し作業を行っている状況である。
整備後は、静穏が確保され、同作業における時間の短縮が図られる。

区分		備考
イクス利用回数	(日/年) ①	80
作業人員	(人/回) ②	40 下記ヒアリングと同
漁業者労務単価	(円/時間) ③	1,712 令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
【整備前】		調査日: R5年7月12日 調査場所: 五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者: 五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者: 長崎県職員 調査実施方法: ヒアリング調査
作業時間	(時間/日) ④	3.00
【整備後】		
作業時間	(時間/日) ⑤	2.00
年間便益額 (千円/年)		5,478 ① × ② × ③ × (④-⑤) / 1,000

6) 【-2m物揚場A】浮体式係船岸整備に伴う係留作業時間の短縮効果

現在、潮位の干満差による高低差により乗降作業時に危険を伴っている。
干満差による高低差に対応できる、浮体式係船岸を整備することにより漁船の係留作業時間の短縮が図られる。

区分		備考
年間出漁回数	(日/年) ①	127 令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
対象漁船数	(隻) ②	19
対象人数	(人/隻) ③	1.5 下記ヒアリングと同
漁業者労務単価	(円/時間) ④	1,712 令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
【整備前】		
作業時間	(時間/日) ⑤	0.52
網外し		0.05
係留		0.42
網かけ		0.05
【整備後】		調査日: R5年7月12日 調査場所: 五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者: 五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者: 長崎県職員 調査実施方法: ヒアリング調査
作業時間	(時間/日) ⑥	0.18
網外し		0.05
係留		0.08
網かけ		0.05
年間便益額 (千円/年)		2,107 ① × ② × ③ × ④ × (⑤-⑥) / 1,000

7) 【-2m物揚場（改良）】浮体式係船岸整備に伴う係留作業時間の短縮効果

現在、潮位の干満差による高低差により乗降作業時に危険を伴っている。
干満差による高低差に対応できる、浮体式係船岸を整備することにより漁船の係留作業時間の短縮が図られる。

区分				備考
年間出漁回数	(日／年)	①	127	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
対象漁船数	(隻)	②	16	
対象人数	(人／隻)	③	1.5	
漁業者労務単価	(円／時間)	④	1,712	
【整備前】				調査日：R5年7月12日 調査場所：五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者：五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者：長崎県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業時間	(時間／日)	⑤	0.52	
網外し			0.05	
係留			0.42	
網かけ			0.05	
【整備後】				
作業時間	(時間／日)	⑥	0.18	
網外し			0.05	
係留			0.08	
網かけ			0.05	
年間便益額（千円／年）			1,774	①×②×③×④×(⑤-⑥)／1,000

- (1) 水産物の生産性の向上
④漁獲物付加価値化の効果

1) 【浮棧橋】待機漁船の解消による漁獲高の維持

盛漁期では陸揚げ施設である浮棧橋の不足により陸揚げ待機が発生している。
待機により、陸揚げが遅くなり、鮮魚（太刀魚）は翌日出荷となり、魚価も下がり、冷凍しなくてはならない。
待機漁船の解消ですべてが当日出荷可能となり、魚価の低下を回避することが見込める。

区分			備考
【整備前】			調査日：R5年7月12日 調査場所：五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者：五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者：長崎県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
盛漁月	(ヶ月)	① 3	
盛漁月出漁日数	(日)	② 20	
待機で出荷が遅れる漁船数	(隻)	③ 10	
1隻当りの水揚箱数	(箱)	④ 10	
1箱当りの単価(5kg入り)	(円／箱)	⑤ 3,211	
【整備後】			調査日：R5年7月12日 調査場所：五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者：五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者：長崎県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
盛漁月	(ヶ月)	3	
盛漁月出漁日数	(日)	20	
待機で出荷が遅れる漁船数	(隻)	0	
1隻当りの水揚箱数	(箱)	10	
1箱当りの単価(5kg入り)	(円／箱)	⑥ 6,063	
年間便益額（千円／年）		17,112	①×②×③×④×(⑥-⑤)／1,000

(2) 漁業就労環境の向上

④漁業就業者の労働環境改善効果

1) 【沖防波堤（改良）】蓄用イクス利用時の労働環境改善

近年の沖波の増大により、通常の波浪時には、漁船から蓄用イクスへ水産物を移す際や出荷する際には、イクスの動揺により転落等の危険に注意し作業を行っている状況である。
整備後は、静穏が確保され労働環境の改善が見込まれる。

区分			備考	
イクス利用回数	(回／年)	①	80	調査日：R5年7月12日 調査場所：五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者：五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者：長崎県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業人員	(人／回)	②	40	
作業時間	(時間／回)	③	2.0	
漁業者労務単価	(円／時間)	④	1,712	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
【整備前】				
作業ランクB		⑤	1,103	長崎県基本単価一覧表 労務単価 (R5年4月)
【整備後】				
作業ランクC		⑥	1,000	長崎県基本単価一覧表 労務単価 (R5年4月)
年間便益額 (千円／年)			1,129	$① \times ② \times ③ \times ④ \times (⑤ - ⑥) / 1,000$

2) 【-2m物揚場A】浮体式係船岸整備に伴う労働環境改善

現在、潮位の干満差による高低差により乗降作業時に危険を伴っている。
干満差による高低差に対応できる、浮体式係船岸を整備することにより漁業者の労働環境改善が図られる。

区分			備考	
年間出漁回数	(日／年)	①	127	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
対象漁船数	(隻)	②	19	調査日：R5年7月12日 調査場所：五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者：五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者：長崎県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
対象人数	(人／隻)	③	1.5	
作業時間 (乗降)	(h／回)	④	3.0	
漁業者労務単価	(円／時間)	⑤	1,712	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
【整備前】				
作業ランクB		⑥	1,103	長崎県基本単価一覧表 労務単価 (R5年4月)
【整備後】				
作業ランクC		⑦	1,000	長崎県基本単価一覧表 労務単価 (R5年4月)
年間便益額 (千円／年)			1,915	$① \times ② \times ③ \times ④ \times (⑥ - ⑦) \times ⑤ / 1,000$

3) 【-2m物揚場（改良）】浮体式係船岸整備に伴う労働環境改善

現在、潮位の干満差による高低差により乗降作業時に危険を伴っている。
干満差による高低差に対応できる、浮体式係船岸を整備することにより漁業者の労働環境改善が図られる。

区分			備考	
年間出漁回数	(日／年)	①	127	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
対象漁船数	(隻)	②	16	調査日：R5年7月12日 調査場所：五島漁業協同組合 三井楽支所 調査対象者：五島漁業協同組合 三井楽支所長 調査実施者：長崎県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
対象人数	(人／隻)	③	1.5	
作業時間 (乗降)	(h／回)	④	3.0	
漁業者労務単価	(円／時間)	⑤	1,712	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
【整備前】				
作業ランクB		⑥	1,103	長崎県基本単価一覧表 労務単価 (R5年4月)
【整備後】				
作業ランクC		⑦	1,000	令和3年～令和4年 第69次九州農林水産統計年報
年間便益額 (千円／年)			1,612	$① \times ② \times ③ \times ④ \times (⑥ - ⑦) \times ⑤ / 1,000$

施設整備前後の労働環境評価チェックシート（沖防波堤（改良））

評価指標			ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠(評価の目安)
				整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎日のように事故や病気が発生
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2				直近5年程度での発生がある
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		越波等が発生	
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2				転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		越波等による影響あり	軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
危険性 小計		0～6	2	0			
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		平成18年に背後の畜養イセスが被災	風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1					
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0		○			
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		船舶の動揺等の発生する中での作業を強いられる	長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1				車両の横付けができず運搬距離が長い	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
評価ポイント 計				8	0		

Aランクの条件：評価ポイント計16～13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5～0ポイント

施設整備前後の労働環境評価チェックシート（-2m物揚場（改良）、-2m物揚場A）

評価指標			ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠（評価の目安）
				整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎日のように事故や病気が発生
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2	○		過年度に転倒事故が発生	直近5年程度での発生がある
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1				
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○		転倒事故が発生し、一定期間の通院が必要となった	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1				軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	危険性 小計		0～6	4	0		
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3				風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1	○	○	強風時の影響あり		
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3				長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1	○		漁船と岸壁の高低差が発生し、重労働である	車両の横付けができず運搬距離が長い	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
評価ポイント 計				6	1		

Aランクの条件：評価ポイント計16～13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5～0ポイント